

2014.03.19 糸島市・桜井神社のカンヒザクラ





桜井神社

福岡県糸島郡志摩町大字桜井

延暦四年の宇摩神と仰られた桜井神社創建の起原は、慶長十五年（一六〇八）の臺南により古墳の入口が開き、室融あらたかな神様が現われたことに始まります。このことが延暦二代国主栗田忠文公の知ることとなり、寛永九年（一六三二）に現在の社殿境内が創建されています。
当初より「御止松大明神」と稱されていましたが、延井八十所の氏神を合わせた後、桜井神社と改称され、今日にいたっています。

本殿

県指定文化財（昭和五十二年四月九日指定）



本殿側面

寛永九年（一六三二）の棟札が残り、建造年代がはっきりしています。構造は「三間流造（みまながり）で、一部に後世の補修が見られるものの、全体的には当時の姿をよく残したものである。社殿のいたるところに桐（きりぎりす）や松（しょう）の彫刻があり、鮮やかな色彩が施されています。この色彩は、長年の風雨によりかなり退色していたのですが、平成三年から四年にわたる保存修理工事により復元を試み、現在は創建当時の色彩をみることが出来ます。

拝殿

県指定文化財（平成九年七月二十五日指定）



拝殿正面

本殿とはほぼ同時期に建てられたと思われる拝殿は、正面三間、側面三間の切妻造の構造を持っています。
現存する古絵図では、東側に八母屋造の張り出しがみられますが、現在は壊れしか残っていません。屋根には銅板が葺かれています。やはり古絵図によると瓦葺かかれていたようで、昭和六年の屋根修理で葺き変えられたものと思われます。
このように古絵図と比較すると相違点はいくつかあるものの、ほぼ創建当時のまま現在にいたっているようです。
正面土階の基礎も見事な彫刻です。

楼門

県指定文化財（平成九年七月二十五日指定）



楼門正面

三間一戸の構造で、栗田家尊宗の神社の楼門にふさわしく、静かな本立の中に威風堂々とした姿を今に伝えています。
本殿同様資料が少ないのですが、古絵図に描かれる楼門とはほとんど相違ありません。屋根は銅板で葺かれていますが、創建当時は瓦葺きであったと思われます。本殿と比較すると部材の形が若干違う箇所があるので、本殿完成後間もなく拝殿とともに建造されたものと推測されています。
正面に掲げられる扁額には「正一位御止松大明神」とあり、これは享保元年（一七二〇）に掲げられたものです。

平成十二年三月二十五日

糸島市教育委員会



源三〇一四年大河下ラマ軍師官兵衛
黒田官兵衛
みんなて盛り上げよう！ 頑張ろう！

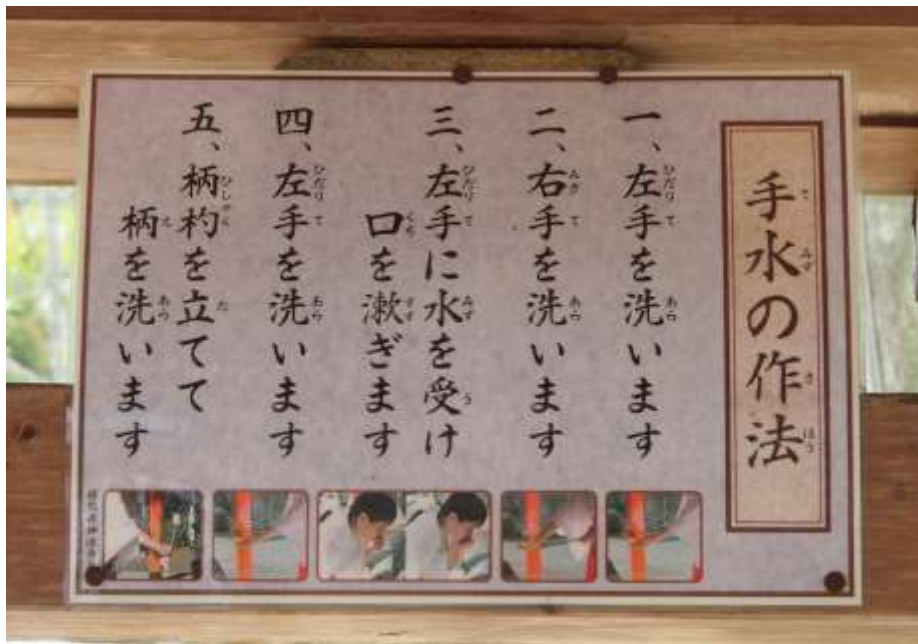
祝
御遷宮

源三〇一四年大河下ラマ軍師官兵衛
黒田官兵衛
みんなて盛り上げよう！ 頑張ろう！

奥宮岩戸宮正月玉串参拝の由来と作法

櫻井神社本殿の真裏に鎮座する岩戸宮は、慶長十五年（一六一〇）六月二日未明、初めてその神窟が開き、大変、靈験あらたかので、元来、七月二日の神霊顕現の吉日のみ岩戸開きが齋行されてきました。昭和天皇の御即位五十周年を寿ぎ、昭和五十一年元旦より三ヶ日間も開かれ、玉串参拝が出来るようになりました。御希望の方は住所氏名を状袋などに御記入の上、玉串料として金千円以上を同封し、玉串受所に渡され、御本殿にお参り下さい。それから、玉串と引換券（岩戸宮神札・福笹（鯛・三俵付き））をお受けになり、左手より岩戸宮にお進み下さい。玉串拝礼の作法は、岩戸宮入口の被所の被串で、先ず自分自身を左右左とお被いして、正面に進み、石階を一段上り、家内安全、商売繁盛、事業繁栄、大漁満足、海上安全、身体健全、病氣平癒、交通安全、受験合格、学業成就、良縁結び、心願成就などの願いを込め、玉串を右に廻し、根元を神前に向け、お供えし、二拝二拍手一拝にてお参り下さい。又、正月特別祈禱祈願祭も受け付け齋行しています。櫻井神社へ初詣参拝の皆様にとりまして本年も輝かしい良い年でありますようお祈り申し上げます。

櫻井神社社務所



参拝順路 ⑨

二見ヶ浦遙拝所

「縁結・夫婦円満の神」

開

浦ヶ二見前筑
岩夫婦井桜

運





お賽銭

賽銭箱



↑ 参拝順路①

櫻井猿田彦神社

一導き・災い除けの神一



ヤマアジサイ

ヤマアジサイ (学名/*Hydrangen serrata*) は、アジサイ科アジサイ属の一種。日本固有の花で「万葉集」にもその名が見えるほど…。山中の沢によく見られることから、サワアジサイとも呼ばれている。ただし、独立した種としては認められていない。セイヨウアジサイやガクアジサイと比べ、花の色が多様性に富む。葉質は薄く光沢が無い。枝は細く、樹高1m程度。

櫻井神社の森に
一万本のヤマアジサイを
咲かせましょう。

【ヤマアジサイ・プロジェクト】

このプロジェクトは、櫻井神社を尊敬う幾人かの人々が「櫻井神社をヤマアジサイの名所にしたい…」と発案し、始まりました。

この思いに賛同した有志数名は「ヤマアジサイ委員会」を発足させて「櫻井神社の森に一万本のヤマアジサイを咲かせよう…」とプロジェクトが動きだしています。

ヤマアジサイ植栽事業へのご協力をお願いします。

ヤマアジサイの植栽費用として一口1,000円の協力を募ります。頂いたお金は、苗の購入資金およびヤマアジサイプロジェクトの運営に使用させていただきます。植栽事業は年3回…3月、6月、11月を予定しています。植栽後の管理はヤマアジサイ委員会の会員が行います。

- [第1回植栽] 平成25年7月6日…120本
平成25年7月16日…ヤマアジサイ委員会 発足
- [第2回植栽] 平成25年11月実施予定 (30本を予定)
- [第3回植栽] 平成26年3月実施予定 (200本を目標に計画中)

ヤマアジサイ・プロジェクト

プロジェクト発起人 外山 洋児 (ヒロコ)
ヤマアジサイ事業委員長 近藤 時郎

事務局 糸島市志摩桜井2460-12
phone 092 372 4101 (てらとこ家)



ヤマアジサイ植栽地



ウメ（梅）バラ科

ソメイヨシノ（染井吉野） バラ科





カンヒザクラ（寒緋桜） バラ科
別名：ヒカンザクラ、台湾ザクラ



カンヒザクラ（寒緋桜） バラ科
別名：ヒカンザクラ、台湾ザクラ



カンヒザクラ（寒緋桜） バラ科
別名：ヒカンザクラ、台湾ザクラ



カンヒザクラ（寒緋桜） バラ科
別名：ヒカンザクラ、台湾ザクラ



ヤブツバキ（藪椿）ツバキ科



シロヤブツバキ（白簔椿） ツバキ科



アセビ（馬酔木）ツツジ科 常緑低木



アセビ（馬酔木） ツツジ科 常緑低木



セントウソウ（仙洞草、洗湯草） セリ科



ジロボウエンギサク（次郎坊延胡索） ケン科



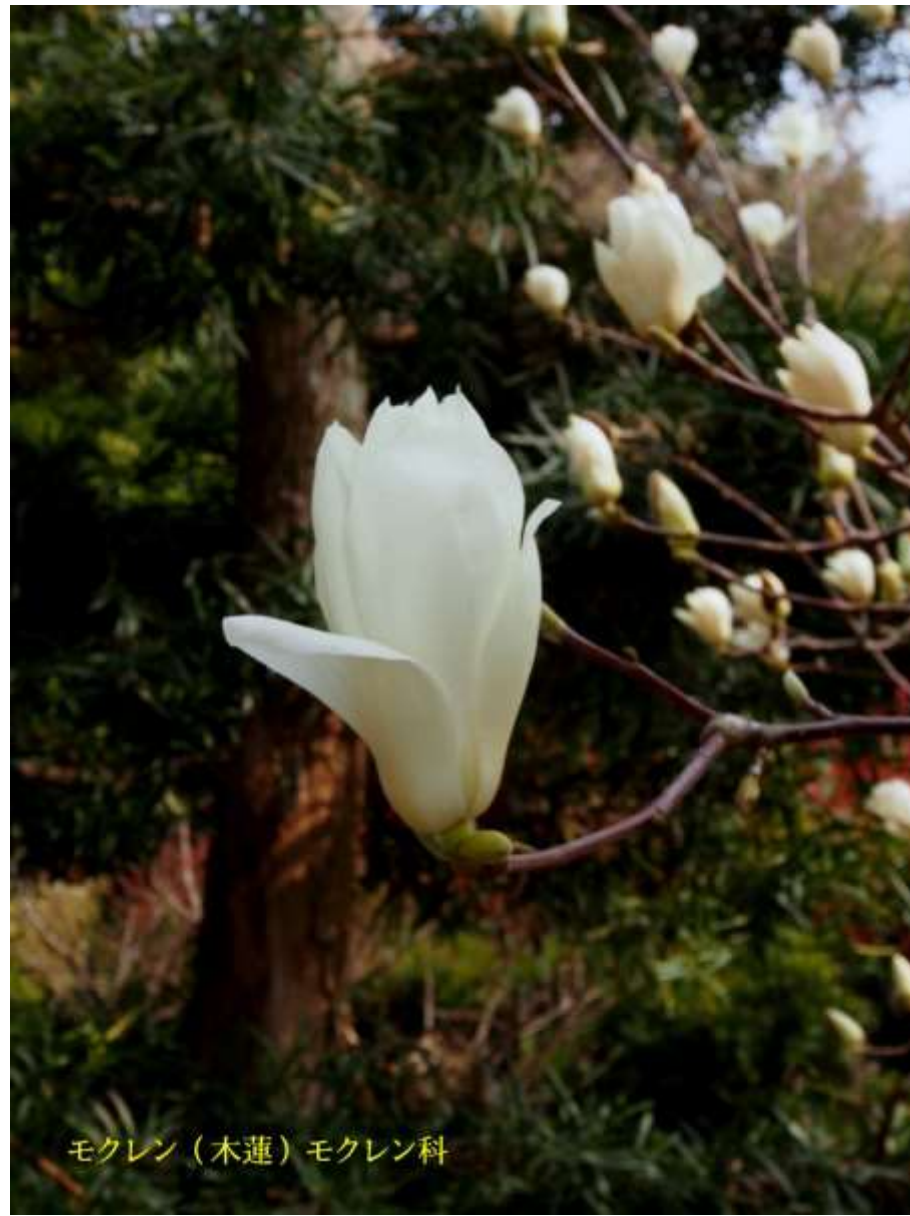
ジロボウエンゴサク（次郎坊延胡索）
ケシ科



ジロボウエンゴサク（次郎坊延胡索） ケシ科



コハコベ (小繁縷)
ナデシコ科
別名: ハコベ



モクレン (木蓮) モクレン科



モクレン（木蓮）モクレン科



ボケ(木瓜) バラ科



ボケ（木瓜） バラ科